

2017年11月30日

報道関係者各位

計2枚

**国際基督教大学と日本国際基督教大学財団（JICUF）が
「シリア人学生イニシアチブ」募金キャンペーンを開始**

募金キャンペーン概要

[日本国際基督教大学財団（Japan ICU Foundation: JICUF）](#)は、[国際基督教大学（ICU、東京都三鷹市）](#)でシリア難民が学ぶための奨学金制度「シリア人学生イニシアチブ（Syrian Scholars Initiative: SSI）」のための募金キャンペーンを開始しました。

JICUF と ICU は、今年 6 月 20 日（世界難民の日）に SSI の応募受付を開始しました。[認定 NPO 法人難民支援協会（Japan Association for Refugees: JAR）](#) と連携し、2018 年から 2021 年までの毎年 9 月に、トルコに逃れたシリア難民を毎年 1～2 名、計 6 名、ICU の学部生として受け入れます。これらの学生には、JICUF と ICU からの奨学金として、検定料、入学金、学部 4 年間の学費および寮費が免除される他、生活費の一部、トルコから日本への渡航費等が給付されます。

*なお、本奨学金採用者は、他の 9 月入学生と同じ選考を経て入学します。

学生 1 名当たりの学費や生活費など年間費用は約 2 万 5 千米ドル（約 280 万円）で、6 名の学生に ICU での 4 年間の学部教育を受けさせる費用は 60 万米ドル、約 5 万米ドルの諸経費を合わせると合計約 65 万米ドル（約 7,270 万円）にもなり、卒業生及び一般の方々からのご支援が不可欠です。

キャンペーン期間は 2017 年 11 月から 2020 年 3 月で、募金目標額は 6 名のうち 2 名分の 4 年間の奨学金に当たる 20 万米ドル（約 2,240 万円）です。キャンペーンは JICUF が主体となって運営しますが、日本国内からのご寄付は ICU で受け付けます。

シリア人学生イニシアチブの背景と意義

2011年に内戦が勃発して以来、シリアは世界最大の難民輩出国となり、2017年4月までに実に500万人の難民を生み出しています。多くの若者が高等教育の機会を奪われ、「ロスト・ジェネレーション」（失われた世代）となる恐れに直面しています。シリアでは、約15万人が大学進学 of 望みを断たれているという統計もあります。この緊急事態に呼応し、世界各国の大学が難民学生の受け入れ努力を続けていることから、ICUとJICUFも難民支援協会（JAR）と連携し、教育研究機会の提供に最大限の努力を払うと決めました。

ICUがこの奨学金を設立した背景には、第二次世界大戦後間もなく、日米両国の多数の個人による善意のご寄付を持って献学された歴史と、世界人権宣言に則り、恒久平和の確立に資する人材を育成するという使命があります。

キャンペーン Web サイトとご寄付の方法

JICUFは [SSI 募金キャンペーン Web サイト](https://www.jicuf.org/ssi_campaign/?lang=ja) <https://www.jicuf.org/ssi_campaign/?lang=ja> を作成し、世界からのご寄付をオンラインで受け付けています。日本国内在住の方は、[ICU の募金活動 Web サイト](http://subsites.icu.ac.jp/fundraising) <<http://subsites.icu.ac.jp/fundraising>> よりご寄付いただけます。

*本プレスリリース内の為替レートは、2017年10月13日時点の1ドル=112円で計算しています。

問い合わせ先：

国際基督教大学 (ICU) パブリックリレーションズ・オフィス

担当 橋本・佐藤 Tel：0422-33-3040 E-mail：pro@icu.ac.jp Fax：0422-33-3355

日本国際基督教大学財団 (JICUF)

担当 高田 Tel：+1-212-870-3386 E-mail：atakada@jicuf.org Fax：+1-212-870-

2696